

中 全道陸上出場報告 中学生2名が全道大会へ

7月12日(金)、上浦幌中学校3年の廣川湧太くんと浦幌中学校2年の森松未来さんが久門教育長を訪問し、7月26日(金)～28日(日)に旭川市で開催される第50回中学校大会への出場を報告しました。

6月29日(土)、30日(日)に開催された全日本中学校通信大会十勝大会兼道中学校大会十勝地区予選会兼全日本中学校選手権大会予選会で廣川くんは砲丸投げで10m39cm、森松さんは走り幅跳びで4m75cmを記録し全道大会参加標準記録を突破。廣川くんは「全道大会では11mを目指す」、森松さんは「5mの跳躍をしたい」と全道大会に向けた意気込みを久門教育長に語りました。



洋 第24回洋野町長杯パークゴルフ大会 野町民とパークゴルフで交流



7月7日(日)、友好の町絆協定を締結している岩手県洋野町から来町した9名を含む42名で、第24回洋野町長杯パークゴルフ大会がうらほろパークゴルフ場で開催されました。

開会式では来町された水上信宏洋野町長が「24回目となった本大会で、さらに交流の輪を深めてほしい」とあいさつされました。

浦 第48回全道消防救助技術訓練指導会 幌消防署から2名が参加



7月20日(土)に札幌市消防学校で開催された第48回全道消防救助技術訓練指導会のロープブリッジ渡過の部に、浦幌消防署から大西龍乃輔副士長と前田竜一消防士が出場しました。

ロープブリッジ渡過は、往路をロープの上をうつ伏せで渡り、復路はロープの下を伝い渡ります。

訓練は5月から行われており、同じくロープブリッジ渡過の部に出場した豊頃消防署の2名と合同で訓練をしてきました。

今回の指導会において、大西副士長は25秒40、前田消防士は23秒30を記録。前田消防士は8月25日(日)に開催される全国消防救助技術大会に北海道の代表として出場することになりました。

快 こどもまつり2019 晴の下、こどもまつり開催



7月7日(日)、浦幌町健康公園で「こどもまつり2019」(こどもまつり実行委員会主催)が開催されました。

こどもまつりは、昨年は雨天で開催できず、2年ぶりの開催。浦幌中学校吹奏楽部の演奏で開幕し、消防車・パトカーの搭乗体験や恒例の水鉄砲を使ったイベントのほか、「目隠しチャンバラ」など18のアトラクションが行われました。



浦 第38回道小学生大会に出場
浦幌バドミントンクラブから3名出場

7月18日(木)、第41回全十勝小学生大会に出場し、シングルスでの第38回道小学生大会への出場権を獲得した浦幌小学校6年の矢藤秋穂さん、同4年の竹田早志くん、山本結千花さんが久門教育長を訪問しました。

3人は「フットワークを強化して、全道大会で勝ち上がりたい」と意欲的に語りました。久門教育長は「応援してくれている家族、指導していただいている指導者の皆さんへの感謝を忘れず、全道大会でも頑張ってきてください」とエールを送られました。



競 全道大会での優勝を報告
競泳自由形100mで全道優勝

7月18日(木)、浦幌小学校3年の山岸夕梨夏さんが久門教育長を訪問し、競泳の2019 J S C A 北海道ブロック夏季大会において、女子8歳以下の100m自由形での優勝を報告しました。

全道大会での記録は1分27秒43で自己ベストを記録。2位と0.15秒差の僅差を制し、初めて出場した全道大会で初優勝を収めました。

久門教育長は「全道で優勝は素晴らしい結果。浦幌の誇りです」と健闘をたたえられました。



快 第7回日立建機フェスティバル×うらほろ夏フェスタ
晴の下、5年ぶりに開催



7月28日(日)、日立建機浦幌試験場において、第7回日立建機フェスティバル×うらほろ夏フェスタが開催されました。

第7回目を数える日立建機フェスティバルは、2016年、2018年に台風の影響で開催ができず、5年ぶりの開催となり、うらほろ夏フェスタとの共同開催は初めてとなりました。

会場では多くの重機が並び、4脚双腕のコンセプトマシンや、海外の鉱山などで活躍し日本では試験場でしかお目にかかれないマイニング機による土砂の積み込みなどの実演が行われました。普段目にするのでできない珍しい重機に、子どもだけではなく大人も目を輝かせ、イベントを楽しんでいました。

清 厚内市街婦人会
拭布を1,071枚はまなす園に寄贈

7月25日(木)、厚内市街婦人会の皆さんが特別養護老人ホームはまなす園を訪問し、大判バスタオル1枚、バスタオル1枚、タオルケット2枚、タオル25枚、日本てぬぐい4枚、ふきん用タオル6枚、布おむつ6枚、タオル地シート1枚、カット清拭布1,025枚を寄贈しました。

浦幌幸寿会の上村健二理事長は、「年々ボランティアの方が減っていきっている中、毎年こうして多くの清拭布などを作り、寄贈していただき大変ありがたい。大切に使用させていただきます」とお礼の言葉を述べられました。

